

教材・支援機器活用実践事例【ICT】

学習した内容を自ら振り返るための ICT 活用 「タブレット端末を使用した学習内容の振り返り」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・小学部 5年
	障がい名等	肢体不自由 聴覚障がい
	子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等)	<ul style="list-style-type: none"> ・難聴であり、日常的な会話は手話や指文字、五十音表で行うことができる。 ・平仮名を読み書きすることができるが、言葉やイメージを文字にすることに難しさを感じている。
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	国語科
	単元(題材)名	単元名「くわしくはなそう」
	単元(題材)の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の動作を見て、文章を考える学習であった。例として、「・をみがく」のように、主語述語を使った2語文を作った。教師の動作はタブレット端末を使って動画を撮影した。解答するときは、①主語を答える、②助詞(を)を答える、③述語を答える、の順で段階的に行った。本時の内容を始める前に、前時学習した内容の復習を行った。復習の時に、解答が分からない時には、前時に撮った動画を確認して振り返るようにした。
教材・教具支援機器について	教材・教具 支援機器	<p>タブレット端末アプリ</p> <p>①「カメラ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の動作を動画で撮影した。 <p>②「写真」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・撮影した動画に教師が名前を付けて児童が確認できるようにした。
	ねらい・工夫点	<p>〈ねらい〉</p> <p>○前時に学習した内容を振り返ることができる。</p> <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の動作を的確に撮影できるように、タブレット端末をダブルクリップで固定しながら撮影した。 ・すぐに探せるように、写真をお気に入り登録して、お気に入りのフォルダから探すようにした。 ・動画のタイトルを解答にして、正答を確認できるようにした。
	材料・作成方法等	タブレット端末、ダブルクリップ
子どもの変容や評価		<p>前時学習した内容が思い出せない時に、教師に支援を求めるのではなく、撮影した動画を探し、動画とタイトルを見て、前時の内容を自ら振り返ることができた。教師が教えるのではなく、自ら確認することで、学習が定着しやすかったように感じた。</p>

(令和4年度)